

こっこめ通信 10 2022

「まるまるカマキリ特集」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

日本に被害をもたらす台風がいくつも発生し、季節は本格的な秋になっています。八丈島でも秋の気配が漂い始める頃から生きものの様子は少しずつ変化し、今はカマキリの成虫の姿が目立ちます。そこで今回は島のカマキリに焦点を当てて特集してみました。調査の顛末と島で記録されているカマキリを紹介します。(T.K.)

チョウセンカマキリを探せ！

チョウセンカマキリの和名は「カマキリ」ですが、今回は分かりやすく「チョウセンカマキリ」で通します

秋になると、成虫となったカマキリたちが目立ち始めます。そんなカマキリの中でも、過去に記録はありますがなかなか見つけれない「チョウセンカマキリ」に会いたくなったので、9月初めから約1ヶ月、島の中を探してみました。(M.K.)

★どんな所をどんな風に探したの？



生息環境はこのような草地や公園、水田の畦など明るい場所を好むようです。人の手の入った開けた場所がオススメ。



今年はアシナガバチの巣がたくさんあるので、草に分け入らず目視で探しました。見つかるのはハラビロカマキリばかり！



アザミの葉の上にいたのは、ハラビロカマキリ。なかなかチョウセンカマキリには出会えません！

★チョウセンカマキリの同定ポイントは？



オオカマキリはこうのように、カマの付け根が肌色に見えるのに対し、チョウセンカマキリはカマの付け根が鮮やかなオレンジ色です。



オオカマキリの後翅は全体的に茶色っぽくなっています。チョウセンカマキリは後翅の基部は透明な感じになっています。

八丈島で良く見かけるオオカマキリはチョウセンカマキリと瓜二つ。ぱっと見ただけでは、区別が付きません。細かい同定ポイントはたくさんありますが、私たちはカマの付け根の色と後翅の色の2箇所を見比べる事としました。

★チョウセンカマキリに会えたの？



さて今回の探索の結果は、9月3日から9月25日までの間に調査に出かけたのは全部で9回。この9回のうち出会ったカマキリは、オオカマキリ9頭、ハラビロカマキリ19頭でした。

オオカマキリは左の写真のように、葉の上やセイタカアワダチソウなどの背が高くなる植物の茎にいました。しかも、私たちの膝より上かつ肩よりも下で見つける事が多かったです。

オオカマキリにそっくりなチョウセンカマキリもこのような環境にいると思ったのですが…。

搜索は一旦中断しますが、見つけた暁にはご報告いたします！(M.K.)

「アカコッコ」は日本固有のヒタキ科(旧ツグミ科)の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈島のカマキリたち

チョウセンカマキリ探索プロジェクトでは色々な発見があり、(ハラビロカマキリに咬まれるとすごく痛いとか)解説員が知見を深める良い機会ともなりました。チョウセンカマキリは確認できませんでしたが、これで諦めることなく引き続き調査を続けたいと思います。そこで今回は八丈島で記録されているカマキリを一通り紹介します。中には観察することが非常に難しい種もありますが、折に触れて気に懸けてみてください。そして変わったカマキリを見かけたら是非ビジターセンターにご一報ください。お待ちしております。(T.K.)

レア度第1位



ヒナカマキリ *Amantis nawai*

翅が発達せず、林床を走り回って餌になる虫を捕らえる、変わり者の小型のカマキリです。

レア度第2位



チョウセンカマキリ (カマキリ) *Tenodera angustipennis*

普通っぽく見えますが八丈島ではなかなか出会えない、希少なカマキリです。

レア度第3位



コカマキリ *Statilia maculata*

前脚の内側に独特の模様があります。八丈島で出会えたら少し得した気分になるカマキリです。

レア度第4位



オオカマキリ *Tenodera aridifolia*

ハラビロカマキリの次によくみかけるのが本種です。細い枝に立派な卵を産み付けます。

レア度第5位



ハラビロカマキリ *Hierodula patellifera*

八丈島で最も普通のカマキリです。ビジターセンターの外壁にもあちこちに卵を産み付けます。

八丈島で見られるカマキリに珍しい順に順位を付けてみました。

異論もあると思いますが、それを前提として私が日頃感じているレア度の順位を紹介します。

第1位：ヒナカマキリ (激レア)

私は生きた個体に出会ったことがありません

第2位：チョウセンカマキリ (搜索中)

三週間に及ぶ調査でも発見できませんでした

第3位：コカマキリ

たまに見かけますが少ないです

第4位：オオカマキリ

少し注意して探せば見つかるでしょう

第5位：ハラビロカマキリ

八丈島で最も馴染みのあるカマキリです

八丈植物公園季節調査会の報告

今月の「八丈植物公園季節調査会」は植物公園の北側を巡る C コースの二回目になります。

9月11日(日)に実施した今回の参加者は、初めて参加してくれた若いご夫婦と常連のご婦人の3名でした。

途中雨が降ってきたのでコースをショートカットした都合上、定点観察する予定の植物2種を省略してしまいました。そんなこともあって、今回は記録した植物の種数がいつもより少なめになりました。(T.K.)

八丈植物公園季節調査(2022年度第6回)参加者:工藤, 工藤, 青木 VC 菊池, 沖山

NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態	NO.	和名 (島名)	状態
① VC 裏八丈の森			22	オニタビラコ	花と実	51	ヘクソカズラ	花
1	シロダモ雄木	葉	23	ガクアジサイ	若い実	52	ヘラバヒメジョオン	花
②行啓記念碑入口			24	カタバミ	花と実	53	ホソバツルメヒシバ	実
2	モッコク	若い実	25	カヤツリグサ	実	54	ホルトノキ	実
③坂の上			26	カラムシ	花	55	メヒシバ	実
3	ハゼノキ雌木	実	27	キンゴジカ	花	56	ヤマイ	実
④東エントランス			28	ケナシヒメムカシヨモギ	花と実	シダ植物		
4	スダジイ	葉	29	コニシキソウ	花と実	1	イシカグマ	
⑤通称一泰山			30	コマツヨイグサ	花と実	2	オオタニワタリ	
5	モクレイシ雄木雌木	観察せず	31	コミカンソウ	花と実	3	オニヤブソテツ	
⑥ジャカラダの細道			32	シマナガバヤブマオ	花と実	4	タチクラマゴケ	
6	シチトウタラノキ	観察せず	33	ジュズダマ	実	5	タチシノブ	孢子葉
⑦2番トイレ			34	セイヨウタンポポ	実	6	タマシダ	
7	モチノキ雌木	実	35	タケダグサ	花	7	トオラノオシダ	
⑧ピロウ広場			36	タチスズメノヒエ	実	8	ナチシケシダ	
8	シチトウエビヅル	葉	37	チチコグサ	花と実	9	ノキシノブ	
9	アオキ	若い実	38	ツユクサ	花	10	ハチジョウカナワラビ	
10	アオツツラフジ	花と実	39	テイカカズラ	実	11	ハチジョウシダ	
11	アオノクマタケラン	実	40	テリハノブドウ	実	12	ヒトツバ	
12	アシタバ	花	41	テンツキ	実	13	ホシダ	
13	イガガヤツリ	実	42	トベラ	実	14	マツバラシ	
14	イヌビワ	実	43	ナキリスゲ	花と実	15	マメツタ	孢子葉
15	イワニガナ	花	44	ハチジョウアザミ	花	今回はシダ植物 15 種を含む 71 種の植物を観察しました。 また今シーズン順調に巣立ったと思われるシチトウメジロの巣を観察し、ピロウ広場では小さなニホンアマガエルを見つけました。		
16	ウスベニニガナ	花	45	ハチジョウキブシ	実			
17	ウリクサ	花	46	ハハコグサ	花			
18	オオアレチノギク	花と実	47	ヒサカキ	実			
19	オオバヤシャブシ	実	48	ヒナギキョウ	花と実			
20	オオムラサキシキブ	若い実	49	ヒメユズリハ	実			
21	オヒシバ	実	50	フウトウカズラ	実			

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。

今回は「ハチジョウイノコヅチ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウイノコヅチ *Achyranthes bidentata* var. *hachi-joensis*

南日本に広く分布する植物ですが、どの地域でも比較的海岸近くで見られるようです。八丈島でもハチジョウイノコヅチが見られるのは海岸近くに限定されています。しかし海浜植物と言えるほど海の近くではなく、海岸通りから一本内陸に入った日当たりの良い小径を選んで生えています。八丈島に分布するイノコヅチ4種の内、イノコヅチは平地の半日陰、ヒナタイノコヅチは平地の日当たりの良い場所、ヤナギイノコヅチは山地の半日陰と、それぞれが主に生えている環境は少しずつ異なっています。ハチジョウイノコヅチは全体に毛がなく、ツヤのある明るい緑色の葉が特徴です。(T.K.)

2022 八丈ビジターセンター 10 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります						1 ガイドウォーク 08:54 19:22 01:50 13:50
2 ガイドウォーク	●	3	4	5	6	7 寒露 8 ガイドウォーク 03:38 16:32 03:38 16:32
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	○	10 ガイドウォーク	11	12	13	14 15 ガイドウォーク 08:35 18:54 01:34 13:23
16 ガイドウォーク	17	●	18	19	20	21 22 ガイドウォーク 八丈学講座 「渡り鳥観察会」 02:52 15:38 02:52 15:38
霜降 23 ガイドウォーク	24	●	25	26	27	28 29 ガイドウォーク 08:04 18:24 00:53 13:03
30 ガイドウォーク	31					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
10/9(日) (13:30～15:00) 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

八丈学講座 「渡り鳥観察会」

毎月行っている八丈学講座。今月は賑やかになってきた渡り鳥を観察します。
10/22(土) (13:30～15:00) 中学生以上
南原スポーツ公園(予定) 集合・解散 参加費:50円 定員:10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日及び祝日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員:10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち

11:00～ おじゃりやれ 八丈島

14:00～ おじゃりやれ 八丈島

15:00～ おじゃりやれ 八丈島

16:00～ 八丈・海・生きものたち

当面の間は上記のみの上映になります

東京都八丈ビジターセンター 2022.10.1 第257号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入館無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話:04996-2-4811 Fax:04996-2-4888

E-mail: info@hachijo-vc.com

http://www.hachijo-vc.com

編集後記

だんだんと日が短くなり、秋の深まりを感じる今日この頃。いかがお過ごしでしょうか。さて、今探索で見つけられなかったチョウセンカマキリ。諦めずにさらに探索を続けていきたいと思っています。(M.K.)